

臨床研究へのご協力をお願い

「角膜内皮減少疾患の位置依存性に関する研究」へのご協力をお願い

フックス角膜内皮ジストロフィがある、もしくはその疑いがある方へ

1. 研究の意義と目的

当科では、患者さんが受診されるとき検査の一つとして、角膜内皮撮影を用いて角膜組織を診察しています。今回の研究では、角膜の中心と周辺などの位置によって病気の進み方に違いがないか調べます。将来的には病状の解明や新規治療法の開発へとつながることを期待しています。

2. 研究の方法

既に撮影された角膜内皮の画像データを用いて、病変部の面積や細胞密度などの値を、角膜の中心と周辺などの位置によって病気の進み方に違いがないか比較します。画像データと、診察上の所見（内皮変性の進行度）、視力を研究に用います。

3. 研究の対象

2012年5月1日より2013年6月30日までに角膜内皮撮影を行った患者さんを対象といたします。

3. 個人情報の取り扱いについて

通常の外來検査機器と同様に、検査機器内には匿名化は行われずにデータが残りますが、外來に施錠を行い、コンピューターはネットワークから切り離すなどして個人情報の保護を図ります。研究終了後は、個人を特定できないようにした上で、研究成果を学会や学術雑誌等で公表する予定です。

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。研究への参加を希望されない場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

お問い合わせ・連絡先

大阪大学医学系研究科眼科学（大阪大学医学部附属病院眼科）

氏名：藤本 久貴（医員）

TEL：06-6879-3456